



1. 岩手大学東日本大震災復興対策本部関係

(1) 岩手大学東日本大震災復興対策本部の設置について

早期復旧及び復興を支援し推進するため、平成23年4月1日に「岩手大学東日本大震災復興対策本部」(本部長 藤井学長、副本部長 岩淵理事・副学長)を設置した。東日本大震災に被災した本学の学生、生徒、児童、園児、職員並びに建物及び設備並びに自治体及び地域住民に対して、復興支援及び復興推進に関する業務を実施することを目的として全学的な取り組みとして設置した。5部門が責任を持って復興に当たり、復興支援体制を構築した。

復興に当たる各部門、各班は次のとおりである。

- ①情報・連絡調整部門：情報収集・連絡調整班、情報発信班
- ②学生支援部門：学生支援班、附属学校支援班
- ③施設・設備部門：施設・設備関係班、被災者対応班
- ④地域復興支援部門：災害調査・分析班、地域復興支援班、物資支援班、ボランティア班
- ⑤健康管理部門：学生・地域支援班、児童・生徒支援班

なお、岩手大学東日本大震災復興対策本部の庶務を処理するため、平成23年4月26日に「岩手大学東日本大震災復興対策本部事務局」を設置した。

また、岩手大学東日本大震災復興対策本部の情報を一元化するために、外部からの情報連絡窓口を設けた。

岩手大学東日本大震災復興対策本部会議、各部門会議、各班会議の実施状況については、次のとおりである。

(2) 対策本部の会議（開催日・検討内容）

日時等	内容
平成23年4月1日(金)	●岩手大学東日本大震災復興対策本部設置要項について 役員会決定
同日	●第1回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議 議 題 1. 復興対策本部設置について 2. 支援要請状況について 3. その他
4月14日(木)	●第2回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議 議 題 1. 東日本大震災に伴うボランティア活動等について(案) 2. その他 報 告 1. 復興対策部門の各部門における支援取組状況について 2. 岩手大学への支援要請状況について 3. 岩大復興対策本部・復興対策部門の構成員等の名簿について 4. その他
4月26日(火)	●岩手大学東日本大震災復興対策本部事務局の設置について ※学長・副学長会議決定(学長裁定)

日時等	内 容
5月12日(木)	<p>●第3回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩手大学東日本大震災復興対策本部事務局の設置について 2. 復興対策部門の各部門における支援取組状況について 3. 岩手大学の主な活動状況等について 4. 復興支援記録システムについて 5. その他
6月9日(木)	<p>●第4回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩手大学東日本大震災復興対策本部構成員名簿等について 2. 復興対策部門の各部門における支援取組状況について 3. 大学の主な活動状況等について 4. 災害支援物資について 5. その他
7月14日(木)	<p>●第5回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三陸復興支援の推進体制(案)等について 2. 平成24年度大学入試センター試験の実施について 3. 復興対策部門の各部門における支援取組状況について 4. 大学の主な活動状況等について 5. 今後の復興対策部門の各部門における支援の方向性について 6. その他
9月8日(木)	<p>●第6回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の岩大復興対策部門の各部門における課題、支援の方向性について 2. 三陸復興支援センターの設置について 3. 三陸水産業の復興と持続的な発展に向けた3大学連携推進に関する基本合意書(案)について 4. 復興対策部門の各部門における支援取組状況について 5. 大学の主な活動状況等について 6. 平成23年度震災復興・日本再生支援事業募集について
10月13日(木)	<p>●第7回岩手大学東日本大震災復興対策本部会議</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩手大学三陸復興推進本部設置(案)等について 2. 大学の主な活動状況等について 3. その他

(3) 各部門の会議 (開催日・検討内容)

【情報・連絡調整部門会議】

日時等	内 容
平成23年4月5日(火)	<p>●第1回(開催場所:事務局第一会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 班の構成について 2. 業務内容について 3. スケジュールについて 4. その他
5月10日(火)	<p>●第2回(開催場所:事務局第二会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 久慈市からの要望事項について 2. 支援取組状況について 3. 復興支援記録システムについて 4. その他

【学生支援班会議】

日時等	内 容
平成23年4月27日(水)	<p>●第1回(開催場所:学生センターA棟会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の被災状況について 2. 学生支援班の当面の課題について 3. その他

日時等	内 容
6月8日(水)	●第2回(開催場所:学生センターA棟会議室) 議 題 1. 大学教育総合センター各部門における被災学生への支援状況について 2. 東日本大震災岩手大学被災学生支援募金の使途について 3. 学部の支援状況について 4. その他
6月29日(水)	●第3回(開催場所:学生センターA棟会議室) 議 題 1. 前回の記録の確認と報告 2. 東日本大震災に係る平成24年度以降の学生支援について 3. 大学教育総合センター各部門における被災学生への支援状況について

【附属学校支援班会議】

附属4校園会議で審議した。

【施設・設備部門会議】

日時等	内 容
平成23年4月14日(木)	●第1回(開催場所:財務・労務担当理事室) 議 題 1. 各班の復興対策の状況について ① 施設・設備関係班の状況 ② 被災者対応班の状況
5月10日(火)	●第2回(開催場所:財務・労務担当理事室) 議 題 1. 各班の復興対策の状況について ① 施設・設備関係班の状況 ② 被災者対応班の状況 2. その他 ① 構内放置自転車を被災地に提供することについて ② 被災地中学校へのテニスコートの貸出しについて
6月7日(火)	●第3回(開催場所:財務・労務担当理事室) 議 題 1. 各班の復興対策の状況について ① 施設・設備関係班の状況 ② 被災者対応班の状況 2. その他 ① 構内放置自転車を被災地に提供することについて ② 被災地中学校へのテニスコートの貸出しについて
7月12日(火)	●第4回(開催場所:財務・労務担当理事室) 議 題 1. 各班の復興対策の状況について ① 施設・設備関係班の状況 ② 被災者対応班の状況
9月7日(水)	●第5回(開催場所:財務・労務担当理事室) 議 題 1. 各班の復興対策の状況について ① 施設・設備関係班の状況

【地域復興支援部門会議】

日時等	内 容
平成23年6月23日(木)	●第1回(開催場所:事務局1階 第四会議室) 議 題 1. 各班の活動状況、問題点、活動方針等について 2. 復興支援に充てる予算額・執行状況等 3. 平成24年度概算要求(震災復興支援プロジェクト)について 4. その他
10月6日(木)	●第2回(開催場所:情報メディアセンター図書館1階 会議室) 議 題 1. 被災地の現況報告 2. 地域復興支援部門の今後の体制等について 3. 岩手大学震災復興対策本部主催報告会について 4. その他

【地域復興支援班会議】（※第1回と第4回以降は災害調査・分析班と合同会議）

日 時 等	内 容
平成23年4月11日(月)	●第1回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 支援部門、各班の役割について 2. 平成24年度特別経費プロジェクトについて 3. その他
4月19日(火)	●第2回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクト事業提案書について 2. その他
4月26日(火)	●第3回(開催場所:事務局1階 第四会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクト事業提案(平成24年度以降)について 2. 岩手県沿岸復興プロジェクト事業提案(平成23年度分)について 3. 地域復興支援班の任務について 4. その他
5月6日(金)	●第4回(開催場所:事務局1階 第四会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクト事業提案(平成23年度分)の検討 2. 地域復興支援班の任務の検討 3. その他
5月17日(火)	●第5回(開催場所:事務局1階 第四会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクト事業提案(平成23年度分)の検討 2. 地域復興支援班の任務の検討 3. その他
5月30日(月)	●第6回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 平成23年度沿岸復興プロジェクト募集について 2. 震災復興に係る人材育成プログラムの開発について 3. 平成24年度概算要求について 4. その他
6月13日(月)	●第7回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 平成23年度沿岸復興プロジェクト募集について 2. 震災復興に係る人材育成プログラムの開発について 3. その他
6月27日(月)	●第8回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクト活動状況等調査について 2. 震災復興に係る人材育成プログラムの開発について 3. その他 報 告 1. 地域復興支援部門連絡会について 2. その他
7月11日(月)	●第9回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 岩手県沿岸復興プロジェクトリーダー会議について 2. 震災復興に係る人材育成プログラムの開発について 3. その他
9月6日(火)	●第10回(開催場所:事務局3階 第二会議室) 議 題 1. 本学の沿岸復興関係事業の進捗状況について 2. 岩手県沿岸復興プロジェクトの追加支援要求について 3. その他

【物資支援班会議】

日 時 等	内 容
平成23年4月7日(木)	●第1回(開催場所:事務局1階 第四会議室) 議 題 1. 活動状況 2. 支援の流れ 3. 当面の活動について 4. その他

日時等	内 容
4月25日(月)	<p>●第2回(開催場所:事務局1階 第四会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動状況 2. 宮古高校への支援について 3. 物資の保管場所 4. その他
5月9日(月)	<p>●第3回(開催場所:事務局1階 第四会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支援物資について <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮古高校への支援について 2. バザーについて 3. 学用品について 4. 家電製品の置き場について 5. 自転車 6. パソコン 7. その他
5月27日(金)	<p>●第4回(開催場所:事務局3階 第二会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動状況 2. 今後の支援について 3. その他
6月16日(木)	<p>●第5回(開催場所:事務局3階 第二会議室)</p> <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動報告
7月13日(水)	<p>●第6回(開催場所:事務局3階 第二会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の活動について 2. 食料品物資について 3. 物資提供元へのお礼について 4. その他 <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他

【ボランティア班会議】

日時等	内 容
平成23年4月5日(火)	<p>●第1回(開催場所:事務局1階 第四会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア班の具体的業務内容について 2. 構成員の確認について 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 視察報告(釜石、大船渡) 2) 第1回ボランティアについて(大船渡) 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 当面の課題 2) 事務実務窓口 3) すでに行われている震災ボランティアの把握と登録方法 4) ボランティア学生、教職員への支援方策 5) 今後のボランティア支援システムの構築
4月12日(火)	<p>●第2回(開催場所:事務局2階 第一会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項(陸前高田、釜石、宮古、大船渡での活動状況報告) 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 今週の動き 2) ボランティア説明会 3) 岩手大学学生ボランティア団体(天気輪の柱)の活動状況について 4) 「東日本大震災に伴う学生ボランティア活動について(案)」 5) ボランティア単位認定について 6) 教職員へのボランティアの呼びかけ 7) その他

日時等	内 容
4月19日(火)	<p>●第3回(開催場所:事務局2階 第一会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 班員による各地域での活動状況報告 2) ボランティアバスの運行 3) ボランティア説明会 4) ボランティア振り返りの会 5) ホームページについて 6) 宮古避難所報告 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 今週の動き 2) ボランティア班に集まるボランティア情報の整理・発信方法 3) 他大学との連携 4) 今後の学部による復興支援とボランティア班の業務の棲み分け 5) 職員ボランティアの声かけ
4月26日(火)	<p>●第4回(開催場所:教育学部第一会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 班員による各地域での活動状況報告 2) 宮古職員ボランティア 3) 文科省の動向について 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業開始後のボランティア班業務について 2) 今後の震災復興ボランティアの展開 3) その他
5月10日(火)	<p>●第5回(開催場所:事務局2階 第一会議室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) ボランティアバス運行 2) 班員による各地域での活動状況報告 3) 宮古職員ボランティア 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業開始後のボランティア班業務 2) 今後の震災復興ボランティアの展開 3) その他

以降は、必要に応じメール会議等を実施。

【健康管理部門会議】

日時等	内 容
平成23年4月13日(水)	<p>●第1回(開催場所:学生センターB棟多目的室)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 班編成について 2. 活動内容について
8月1日(月)	<p>●第2回(メール会議)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県教委要請対応検討WGの設置について

【学生・地域支援班会議】

日時等	内 容
平成23年5月2日(月)	<p>●第1回(開催場所:保健管理センター)</p> <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア振り返りの会への参加者について 2. 震災に関する相談件数(保健管理センター対応分)について
6月6日(月)	<p>●第2回(開催場所:保健管理センター)</p> <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生への「震災ストレスに関するアンケート」結果について 2. ボランティア振り返りの会への参加者について
7月4日(月)	<p>●第3回(開催場所:保健管理センター)</p> <p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生への「震災ストレスに関するアンケート」結果について 2. ボランティア振り返りの会への参加者について
8月1日(月)	<p>●第4回(開催場所:保健管理センター)</p> <p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセラーの派遣について

【児童・生徒支援班会議】

日時等	内 容
平成23年6月30日(木)	●第1回(開催場所:人文社会科学部6号館相談室) 議 題 1. 岩手県教育委員会からの支援要請について
7月10日(日)	●第2回(メール会議) 議 題 1. 附属小学校父兄からの沿岸避難所での女子生徒の問題に関する依頼への対応について

【県教委要請対応検討WG会議】

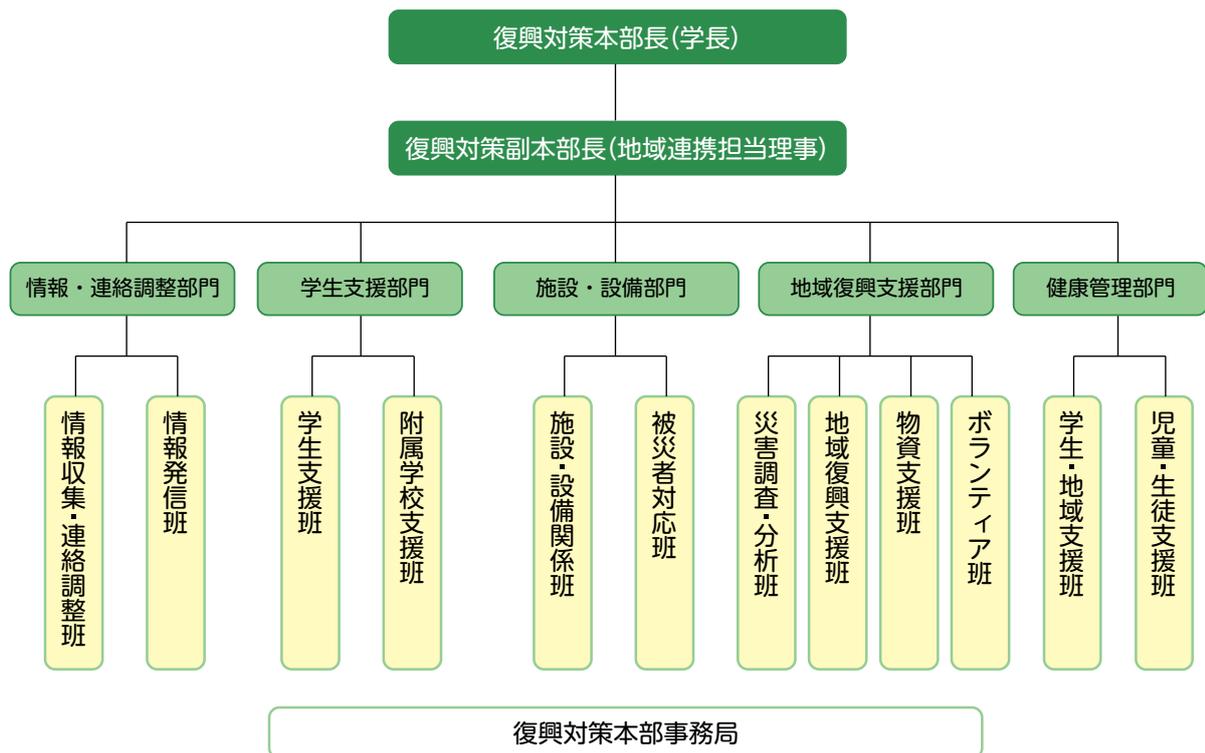
日時等	内 容
平成23年8月9日(火)	●第1回(メール会議) 議 題 1. 岩手県教育委員会からの支援要請への対応等について
8月23日(火)	●第2回(メール会議) 議 題 1. 岩手県教育委員会からの支援要請への対応等(最終案)について

【沿岸スクールカウンセラー担当者(実務者)会議】

日時等	内 容
平成23年8月23日(火)	●全体会議第1回(メール会議) 議 題 1. 岩手県教育委員会からの支援要請実施に向けての具体的検討について
8月25日(木)	●全体会議第2回(メール会議) 議 題 1. 岩手県教育委員会からの支援要請への対応等(最終案)について
9月5日(月)	●大槌高校担当者会議(開催場所:人文社会科学部6号館相談室) 議 題 1. 大槌高校のスクールカウンセリングの実施について
9月7日(水)	●釜石高校担当者会議(開催場所:人文社会科学部6号館相談室) 議 題 1. 釜石高校のスクールカウンセリングの実施について

※その後は、各高校担当者同士でメール会議もしくは実際に集まって情報交換を随時行った。

岩手大学東日本大震災復興対策本部



2. 救援・復興支援活動

(1) 震災復興に関する岩手大学の主な活動状況（平成23年3月～平成23年9月）

● 調査・研究、技術支援、講演活動等

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
1	岩手県三陸沿岸の津波浸水域図の作成	岩手県沿岸市町村	3月11日～4月20日	教職員 4名	土井宣夫(教育学部) 越谷 信(工学部) 土谷信高(教育学部) 齋藤 剛(技術部)	作成した浸水域図は、岩手県災害対策本部へ提供 浸水域図の作成についてまとめた論文は、岩手大学ホームページにて閲覧可能(題名「空中写真判読による2011年東北地方太平洋沖地震津波の浸水域図と津波被害」)
2	人工衛星が撮影した被災地の画像を解析、公開	岩手大学	3月14日～3月17日	-	横山隆三(特任教授) 地域連携推進センター	宇宙航空研究開発機構(JAXA)の地球観測衛星「だいち」が撮影した震災前後の画像を解析
3	岩手県災害対策本部 駐在	岩手県	3月25日～29日	教員 3名	越谷 信(工学部) 南 正昭(工学部) 山本英和(工学部)	
4	沿岸被災地の調査	岩手県沿岸市町村	3月28日	教員 6名	齋藤徳美(名誉教授) 土井宣夫(教育学部) 越谷 信(工学部) 南 正昭(工学部) 小笠原敏記(工学部) 廣田純一(農学部)	復興構想の作成に役立てるため、津波被害の調査を実施
5	被災動物に対する診療 (移動診療車「わんにゃんレスキュー号」の派遣)	大船渡市 陸前高田市	4月1日、7日、14日、21日 5月18日	教職員 延べ32名 学生 延べ3名	佐藤れえ子 (動物病院長)他	5回の活動で延べ131頭(犬100頭、猫30頭、その他1頭)を診療 動物病院ホームページに活動報告あり
6	圃場の被災状況調査、土壌サンプリング 採取土壌の分析と作物適応性試験 (発芽、生育)	宮古市	4月6日	教職員 6名	古賀 潔(農学部) 倉島栄一(農学部) 星野次汪 (農学部名誉教授) 武田伸也 (農学系技術室) 田口芳彦 (農学系技術室)	宮古農業改良普及センターの管内圃場で活動
7	「震災瓦礫処理の促進と廃木材を活用した仮設住宅建設プロジェクト」の提案 (「復興ボード」の開発)	岩手県沿岸市町村	4月7日～	教員 1名	関野 登(農学部)	「復興ボード」が宮古市津軽石で集会施設用材として実用化、木質ボード約160枚が使用された(6月13日)
8	2011年度農村計画学春期シンポジウムでの発表 (テーマ:被災地の現状と課題)	東京都	4月9日	教員 1名	廣田純一(農学部)	
9	岩手県「復興ビジョン」策定に当たっての各分野の専門家のリストアップ	岩手県	4月11日	-	-	岩手県政策地域部政策推進室からの要請 「住まい」「まちづくり」「水産業復興」「学びの再生」「産業振興と雇用」「観光」の6分野について、延べ93名の教員リストを作成し、県に提出
10	文化財の復興にかかわる支援 ・陸前高田市立図書館所蔵「吉田家文書」(県指定文化財)の修復 ・大槌町教育委員会所蔵の考古資料の修復 ・陸前高田市立博物館所蔵資料の救出と修復 ・上記以外の文化財の救出と修復作業 ・被災地の遺跡分布調査	陸前高田市 大槌町 など	4月12日～	教員 2名 学生 約80名	佐藤由紀男 (教育学部) 菅野文夫(教育学部)	岩手県教育委員会生涯学習・文化課と協力
11	農業農村工学会 災害対応特別委員会東北関東大震災特別委員会 現地調査	陸前高田市	4月13日 (調査日)	教員 3名	古賀 潔(農学部) 倉島栄一(農学部) 山本清仁(農学部)	4月22日、調査報告書公表
12	学習講演会「原子力ーそこが知りたいー放射能・放射線と福島原発」での講演	盛岡市	4月16日	教員 1名	西崎 滋 (人文社会科学部)	主催: 日本科学者会議岩手支部

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
13	「子どもの心のケアに関する研修会」での講演	岩泉町 宮古市 大船渡市 陸前高田市 盛岡市	4月18日、 20日、26日、 27日、30日	教員 4名	織田信男 (人文社会科学部)	岩手県保健福祉部からの要請 (講演先) 大船渡市立立根小学校、陸前 高田市立第一中学校、宮古市 中央公民館分館、盛岡市福祉 総合センター、岩泉町小本公 民館
14	農地の塩害対策 (塩類除去手段及び現地試験協力の提案等)	久慈市	4月25日	教員 6名	岡田益己(農学部) 武田純一(農学部) 築城幹典(農学部) 松嶋卯月(農学部) 加藤一機(農学部) 関本勇生 (地域連携推進セン ター)	久慈市からの要請
15	災害後の学生からの相談に向けた学習 と情報交換 (テーマ:震災時に男女共同参画の視点を いかすには)	岩手大学	4月25日	教職員 約20名	男女共同参画推進室	
16	保健師活動 (大槌町での全戸訪問調査)	大槌町	4月28日～ 5月1日	職員 2名	保健管理センター	大槌町からの要請
17	医療支援及び獣医師会本部との連絡調 整業務	岩手県	4月	教員 1名	安田 準(農学部)	岩手県獣医師会からの要請
18	仮設住宅の土台の杭の原料となる小径 の丸太の提供	岩手県沿岸 市町村	4月～	-	農学部附属寒冷フイ ールドサイエンス研 究センター	
19	瓦礫撤去に関する打合せ、廃棄物資源 循環学会岩手県支援タスクチームへの 情報発信	岩手県	5月2日	教員 1名	嶋田尚哉(農学部)	岩手県生活環境部資源循環 推進課
20	被災者の健康診断事後指導	宮城県 気仙沼市	5月8日	教員 1名	立身政信 (保健管理センター)	日本プライマリ・ケア連合学 会からの要請 避難所(気仙沼中学校)で活動
21	学校心理士を対象とした研修会での講 演 (テーマ:被災児童生徒の支援について -事例に学ぶ支援方法-)	岩手大学	5月15日	教員 1名	我妻則明(教育学部)	
22	釜石市両石町地区での復興案検討に向 けた現地調査	釜石市	5月15日	教員 1名	南 正昭(工学部)	NPO法人環境防災総合政策 研究機構の松尾一郎事務局 長らと調査を実施
23	東北地方太平洋沖地震に伴う農地・農 業用施設への緊急影響評価業務	岩手県沿岸 市町村	5月16日	教員 1名	山本清仁(農学部)	日本水土総合研究所からの 要請 5月27日～9月30日まで、 月3回活動
24	花巻市認定農業者協議会平成23年度 総会での講演 (テーマ:放射線と原子力について)	花巻市	5月24日	教員 1名	西崎 滋 (人文社会科学部)	
25	久慈市からの要望に対する対応 1.被災地域のコミュニティの再生 2.大津波の分析及び今後の津波防災に ついて 3.地域コミュニティの在り方に関する 調査 4.復興計画案に対する助言 5.災害廃棄物の早期処分について 6.農業における革新的塩害対策の研究 7.被災後の農山漁村の活性化について 8.震災後の磯根等の海底及び地質変動 調査について	久慈市 岩手大学	5月30日～	教員 5名	麥倉 哲(教育学部) 堺 茂樹(工学部) 晴山 涉(工学部) 河合成直(農学部) 木下幸雄(農学部)	それぞれの要望事項に対応 する教員を久慈市に報告し、 現在活動中
26	ストレスマネジメントに関する研修会 講師 (教職員、対人援助職対象)	岩手県内 各市町村	5月～10月	教員 1名	山本 奨(教育学部)	主催:校長会(3カ所)、市町 村教育委員会等(4カ所)、家 庭裁判所 計8回活動
27	緊急支援カウンセラー (生徒対象)	釜石市 大槌町	6月～7月	教員 1名	山本 奨(教育学部)	主催:岩手県教育委員会(派 遣:岩手県臨床心理士会) 計4回活動

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
28	岩手県内における放射能汚染対策					
	牧草の放射性セシウム検査及び情報提供	岩手県内各市町村	6月1日～活動中	教員 1名 学生 2名	築城幹典(農学部)	
	県内の放射線量の情報提供		6月1日～11日			
	各市町村の土壌表面放射線量測定、分布図作成		6月1日～11日			
	各市町村の大気放射線量測定、分布図作成		6月1日～18日			
	県内の空間放射線量率測定、マップ作成		6月1日～9月9日、16日			
	放射性セシウムの自然崩壊による空間線量率の変化予測		6月1日～9月9日、16日			
	岩手県及び県南5市町による測定データを基に県南5市町の放射線量分布図を作成		6月21日～7月13日			
	岩手山の空間放射線量率測定、マップ作成		9月30日			
文部科学省による航空機モニタリングの結果に岩手県の測定値を追加して東北～北関東域の空間線量率マップ作成	10月7日					
29	「人工知能学会第25回全国大会」での講演 (テーマ:ソーシャルメディアを活用した復旧・復興支援 -モリオネットを例として-)	盛岡市	6月2日	教員 3名	五味壮平(人文社会科学部) 吉田等明(情報処理センター) 梶原昌五(教育学部)	
30	緊急スクリーニングの実施	福島県	6月3日～7日、27日～30日、7月29日～8月1日	職員 1名	秋葉文仁(RI総合実験室)	福島県災害対策本部からの要請
31	岩手大学講演会「がんばろう岩手」の開催、講演	岩手大学	6月4日	学長 教員 1名	藤井克己(学長) 山口 浩(人文社会科学部)	劇作家の平田オリザ氏が講演
32	平成23年度「ひろの町民大学」開講記念講演 (テーマ:放射線・放射能と原子力について)	洋野町	6月4日	教員 1名	西崎 滋(人文社会科学部)	洋野町からの要請
33	平成23年度岩手大学公開講座の講師 (テーマ:震災に対する岩手大学の取り組みと被災動物救護活動)	岩手大学	6月4日	教員 3名	佐藤れえ子(動物病院長) 岡田啓司(農学部) 出口善隆(農学部)	対象: 中学生、高校生、一般市民等
34	日本学術会議6.11シンポジウムでの講演 (テーマ:災害・復興と男女共同参画)	東京都	6月11日	副学長 1名 教職員 3名	菅原悦子(副学長) 堀 久美(男女共同参画推進室) 山下 梓(男女共同参画推進室)	日本学術会議からの要請
35	社会教育指導員等研修講座での講義 (テーマ:災害時の心のケアについて)	盛岡市	6月13日	教員 1名	我妻則明(教育学部)	
36	緊急学習講演会 講演 (テーマ:どうなる放射能の作物影響・原発事故)	滝沢村	6月14日	教員 1名	西崎 滋(人文社会科学部)	主催:農民運動岩手県連合会
37	科学談話会 講演 (テーマ:さんりくの震災復興に向けて)	盛岡市	6月17日	教員 1名	南 正昭(工学部)	盛岡市立図書館からの要請
38	学校心理士を対象とした研修会での講演 (テーマ:震災により保護者などと死別した子どもの悲哀とケア)	岩手大学	6月18日	教員 1名	我妻則明(教育学部)	
39	「地域大学サミット2011」パネリスト (テーマ:復興ニッポン!産学官連携ネットワークの果たすべき役割)	東京都	6月27日	理事・副学長 1名	岩淵 明(理事・副学長)	主催:独立行政法人科学技術振興機構
40	東北学術研究インターネットコミュニティ(TOPIC)研修会での講演 (テーマ:東日本大震災におけるICTを活用した支援活動)	宮城県	6月30日	教員 1名	吉田等明(情報メディアセンター)	TOPIC(東北学術研究インターネットコミュニティ)からの要請
41	岩手大学工学部公開講座 防災フォーラム～東日本大震災について考える～開催 (講演テーマ:津波被害の特徴、復興まちづくり、岩手大学の取組について 等)	盛岡市	7月2日	教員 3名(講演者)	堺 茂樹(工学部) 南 正昭(工学部) 小笠原敏記(工学部) 工学部地域防災研究センター	

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
42	全国教育系大学剣道セミナーでの講演 (テーマ:震災について考える ～災害が起きたときどう対処すべきか～)	東京都	7月4日	教員 1名	浅見 裕(教育学部)	
43	岩手ネットワークシステム(INS) 地盤と防災研究会シンポジウムでの講演	盛岡市	7月9日	教員 1名	南 正昭(工学部)	
44	「子どもの心のケアに関する学習会」講師	花巻市	7月13日	教員 1名	立原聖子(保健管理センター)	石鳥谷八幡学童クラブからの要請
45	情報処理学会「第202回自然言語処理研究発表会」での講演 テーマ① 地域 SNS を利用した復旧・復興支援 - 情報の構造化と学び応援プロジェクト - テーマ② 高田高校学習支援プロジェクトで試みた情報拡散の制御とその顛末	宮城県	7月16日	教員 2名	①五味壮平(人文社会科学部) ②梶原昌五(教育学部)	
46	奥州市前沢区の地震被害調査	奥州市	7月15日～	教員 1名	山本英和(工学部)	4月7日の最大余震(奥州市震度6弱)によって発生した被害の調査 弘前大学と共同で、住民アンケート等を実施
47	シンポジウム「三陸夢会議 in 大槌」コーディネーター	大槌町	7月17日	教員 1名	廣田純一(農学部)	
48	在京岩手産業人会復興支援の集いで講演	東京都	7月20日	学長	藤井克己(学長)	
49	第3回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム パネリスト (テーマ:対応力ある社会の構築)	神奈川県	7月26日	学長 理事・副学長 1名	藤井克己(学長) 玉 真之介(大学教育総合センター・教授)	主催: (財)地球環境戦略研究機関(IGES)、 国連大学高等研究所(UNU-IAS)
50	科学技術振興機構 JST イノベーションサテライト岩手「研究成果報告会」で発表 (内容:被災車両などを有効活用した高性能鋳造品の開発について)	盛岡市	7月27日	職員 1名	小綿利憲(工学系技術室)	
51	第13回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー同時開催セミナー・シンポジウム 岩手大学・東京海洋大学連携 東日本大震災被災地支援セミナー講師	東京都	7月28日	理事・副学長 1名	岩淵 明(理事・副学長)	シーフードショー主催: (社)大日本水産会 セミナー主催: 東京海洋大学産学地域連携推進機構
52	『国立大学リスクマネジメント情報』創刊3周年記念シンポジウム「震災から学ぶリスクマネジメント」パネラー	東京都	8月1日	理事・副学長 1名	岩淵 明(理事・副学長)	主催: 国立大学協会、 国大協サービス
53	軽米町生涯学習講演会「原子力、放射線に対する基本的な知識を習得しよう」での講演	軽米町	8月2日	教員 1名	佐藤 至(農学部)	
54	八幡平市職員研修会 講演(テーマ:放射能・放射線と原子力)	八幡平市	8月10日	教員 1名	西崎 滋(人文社会科学部)	八幡平市からの要請 八幡平市職員約60名が参加
55	警戒区域内家畜保護管理プロジェクト研究	福島県南相馬市	8月19日、20日	教員 2名	岡田啓司(農学部) 出口喜隆(農学部)	応用動物行動学会からの要請
56	「ヒューマンケア・心の絆プロジェクト」セミナー講師及び相談員	宮古市	8月20日、28日	教員 1名	早坂浩志(保健管理センター)	主催:TOKYO FM等
57	東日本大震災岩手大学対応報告会「岩手大学被災学生支援の集い」講演	東京都	8月25日	理事・副学長 1名	岩淵 明(理事・副学長)	主催: 東京北区沢尻栄一記念財団
58	GISA 東北セミナー2011～災害復旧・復興期におけるGIS～基調講演 (テーマ:震災復興におけるまちづくり)	盛岡市	8月25日	教員 1名	南 正昭(工学部)	主催: 地理情報システム学会(GISA)東北支部
59	岩手大学男女共同参画推進宣言2周年シンポジウムでの講演 (テーマ:人の多様性を尊重した岩手の復興を考える)	盛岡市	8月27日	副学長 1名	菅原悦子(副学長)	
60	東京大学シンポジウムでの講演 (テーマ:海洋教育がひらく防災への道)	東京都	8月28日	教員 1名	堺 茂樹(工学部)	主催: 東京大学海洋アライアンス 海洋教育促進研究センター、 日本財団

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
61	森林・環境フォーラムinいわて2011 講演 (テーマ:どう生かす、森林・林業再生プラン)	盛岡市	9月3日	教員 1名	岡田秀二(農学部)	主催: みどりを守り育てる岩手県 民会議
62	防災講演会での講演 (地震発生のメカニズムや震災後の注意点を紹介)	一関市	9月3日	教員 1名	土井 宣夫 (教育学部)	主催: NPO法人防災サポート一関
63	平成23年度防災町内会長研修会での 講演 (テーマ:岩手における復興まちづくり-課 題と展望-)	盛岡市	9月7日	教員 1名	南 正昭(工学部)	主催:盛岡市町内会連合会
64	産学連携実務者ネットワーキング (UNITT2011) 「震災復興のための産学官連携活動」分 科会講師	京都府	9月9日	教員 1名	対馬正秋 (地域連携推進セン ター)	
65	「震災復興シンポジウム」開催(共催)、 パネリスト (テーマ:地震・原発災害からの復興と地方 自治)	岩手大学	9月10日	教員 1名 (パネリスト)	井上博夫 (人文社会科学部)	日本地方財政学会との共催
66	日本臨床獣医学フォーラム年次大会 2011での講演 (テーマ:ともに歩もう、東日本大震災復興 支援プロジェクト-岩手大学の取り組み: わんにゃんレスキュー号の移動診療記録-)	東京都	9月17日	教員 1名	佐藤れえ子 (動物病院長)	
67	避難生活調査	大槌町	9月中旬～ 11月	教員 1名 学生 約20名	菱倉 哲(教育学部)	12月3日、大槌町にて報告会 開催
68	第6回防災計画研究発表会 講演 (テーマ:岩手三陸における復興まちづくり -現状と課題-)	京都府	9月23日	教員 1名	南 正昭(工学部)	
69	東和地域コミュニティ会議合同研修会 講演 (テーマ:原発事故の影響と放射能について)	花巻市	9月26日	教員 1名	西崎 滋 (人文社会科学部)	土沢地区地域づくり会議か らの要請
70	田畑ヨシ氏による紙しばい「つなみ」 上演、講演	宮古市	9月29日	教員 1名	山崎憲治 (大学教育総合セン ター)	岩手大学集中講義「津波の 実際から防災を考える」の一環 として、宮古市立田老第三小 学校にて、「つなみ」作者の田 畑ヨシ氏による講演を実施
71	ICT利活用勉強会 講師 (テーマ:地域情報化とICTを活用した災害 対策・復興支援)	熊本県	9月30日	教員 1名	吉田等明 (情報処理センター)	
72	エコハウス建設への協賛	山田町 大槌町 (建設場所)	9月～12月	教員 1名	関野 登(農学部)	床と屋根のパネルに「復興 ボード」を使用

●物資支援活動等

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
1	高田高校学習支援プロジェクト (学用品の支援)	陸前高田市	3月12日～	教職員、学生	梶原昌五 (教育学部)他	岩手県立高田高校からの要請
2	陸前高田保育所への絵本、文具、遊具 等の支援	陸前高田市	3月 27日、28日	教員 1名	下山 恵 (附属幼稚園)	SAVE IWATEを通じて支援
3	宮古市立田老保育所へ玩具、保育用本、 雑巾等の支援	宮古市	3月	教員 1名	石川則子 (附属特別支援学校)	
4	ICT機器の提供 (設置に伴う調整等の人的技術支援含む)	岩手県沿岸 市町村等	3月末～ 10月27日	-	工学部附属地域防災 研究センター	学校、役場、漁協、商工会な どへパソコン602台、プリン タ90台などを提供
5	パソコン等の提供及びセットアップ	釜石市	4月12日	教職員 4名	今井 潤 (地域連携推進セン ター)他	産業振興部商工労政課産業 政策係兼企業立地推進本部 からの要請
6	岩手県立宮古高校への辞書の物資支援	宮古市	4月22日～ 5月6日	-	-	文科省「学びの支援ポータル」への登録、ホームページ による教職員や学生等への 呼び掛けにより収集(合計 995冊)
7	学用品等の物資支援	岩手県沿岸 市町村 宮城県南三 陸町	3月12日～	教職員、学生	五味壮平 (人文社会科学部) 吉田等明 (情報処理センター) 梶原昌五(教育学部) 本村健太(教育学部)	もりおか地域 SNS「モリオネット」

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
8	文房具等の物資支援	宮古市 大船渡市 宮城県 石巻市	4月14日～	教員等	松岡勝実 (人文社会科学部)	ボランティア団体「葉っぱの会」、岩手県福祉協議会からの要望
9	大容量貯水タンク(200リットル、コック付き)の支援	陸前高田市	4月18日、 5月8日	教員 2名 学生 1名	青井俊樹(農学部) 松木佐和子(農学部)	陸前高田市社会福祉協会からの要請 陸前高田市社会福祉協会へ2台、災害ボランティアセンターへ3台提供
10	「子ども達に語り継ぐ津波体験 紙しばい つなみ」(作:田畑ヨシ 監修・英訳:山崎友子)の送付	沿岸部各市 町村小中 学校及び 教育委員 会	5月23日	教員 1名	山崎友子(教育学部)	沿岸部教育委員会等からの要請
11	リサイクル自転車の提供	岩手県沿岸 市町村	6月8日	-	-	構内の放置自転車を21台整備し、盛岡市を通じて被災地へ提供
12	中古パソコンの提供	岩手県沿岸 市町村	8月10日 8月31日	教職員 44名	吉田等明 (情報メディアセンター)	日本IBM株式会社より無償供与された中古PC(情報処理センターコンピューターシステム更新のため不用となったパソコン)500台を提供 自治体を通じて被災地の民間等へ提供

●各種委員会等への参画

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
1	岩手県東日本大震災津波復興委員会 委員長	岩手県	4月11日～	学長	藤井克己(学長)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
2	東日本大震災復興構想会議 検討部会 委員	東京都	4月11日～ 平成24年 2月10日	教員 1名	廣田純一(農学部)	6月25日、構想会議「復興への提言」発表。 平成24年2月10日、復興庁設置に伴い会議廃止。
3	岩手県東日本大震災津波復興委員会 津波防災技術専門委員会 委員長・委員	岩手県	4月22日～	教員 3名	堺 茂樹(工学部長) ※委員長 南 正昭(工学部) 山本英和(工学部)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
4	岩手県東日本大震災津波復興委員会 総合企画専門委員会 委員	岩手県	4月30日～	教員 2名	廣田純一(農学部) 南 正昭(工学部)	8月11日、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定
5	田野畑村災害復興計画策定委員会 委員長	田野畑村	4月28日～ 9月	教員 1名	廣田純一(農学部)	9月、復興計画策定
6	山田町東日本大震災津波復興計画策定 委員会 委員	山田町	5月9日～ 12月	教員 1名	三宅 諭(農学部)	12月、復興計画策定
7	国立大学協会 震災復興・日本再生に関するワーキング グループ 委員	東京都	7月1日～ 7月15日	学長	藤井克己(学長)	
8	野田村東日本大震災津波復興計画策定 委員会 委員	野田村	6月23日～ 11月	教員 1名	堺 茂樹(工学部長)	11月、復興計画策定
9	岩手県原発放射線影響対策本部 アドバイザー	岩手県	9月1日～	教員 3名	西崎 滋 (人文社会科学部) 佐藤 至(農学部) 築城幹典(農学部)	
10	東北農政局 食料・農業分野における災害復興に向 けた専門家会議 委員	宮城県	9月13日～ 平成24年 3月31日 (予定)	教員 3名	長澤孝志(農学部長) 小野寺英輝(工学部) 佐藤 至(農学部)	

●その他の活動

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
1	WITH(ウィズ)ーいわて三陸震災復興 支援チームーによる活動	岩手県沿岸 市町村	3月28日～	教職員、 学生有志	南 正昭(工学部)	
2	被災動物の一時預かりボランティアの 募集	-	3月30日～ 9月	-	農学部附属動物病院	岩手県獣医師会からの要請 岩手大学ホームページにて ボランティア登録を呼び掛け。 350名以上が登録(募集終了)
3	被災学生を対象とした、入学科、授業 料、寄宿料の免除・減額	-	平成23年度～	-	学生支援課	

	内 容	活動場所	期 間	従事者数	担当教職員・部署名	備 考
4	復興支援ボランティア活動の単位認定	-	平成23年度～	-	学生支援課	文部科学省通知(4月1日付け)を踏まえた措置。 ①事前研修、②一定の活動時間(45時間)、③ふり返りレポートの提出、の3要件を満たした場合に単位認定。
5	岩手大学テニスコートの開放	岩手大学	5月～10月	-	-	5月～10月まで月1回程度、岩手県内の中学校テニス部員を対象に開放
		岩手大学	5月28日	-	-	岩手県中体連ソフトテニス専門部「輪っはっはプロジェクト」～沿岸部と内陸部の交流試合～(招待校:山田町立山田中学校男女、岩泉町立小本中学校男子、宮古市立第一中学校男女)
6	留学生のための防災(地震)ワークショップの実施	岩手大学	5月20日	-	国際課	防災指導車による疑似体験、講義等を実施 留学生約30名が参加
7	男女共同参画関連図書100冊貸出キャンペーン	岩手大学	6月1日～9月30日	-	男女共同参画推進室	国立女性教育会館(NWEC)の「女性教育情報センター所蔵図書のパッケージ貸出サービス」を利用して、震災・ボランティア関連などの図書貸出
8	留学生と市民のガーデンパーティーに被災地の児童生徒を招待	岩手大学	6月18日	-	国際交流センター	
9	被災動物の一時預かり	岩手大学	7月6日～9月	-	農学部附属動物病院	大船渡市の被災者から依頼被災動物(アヒル)一羽を動物病院で飼育
10	「がんばろう岩手! 岩手大学フェア2011」の開催	東京都	7月6日～10日	職員 3名 学生 3名	地域連携推進センター	沿岸企業の商品等を販売 売上金の一部を岩手県(岩手県災害義援金募集委員会)に寄附
11	小岩井農場「小岩井お笑い&わかものチャリティライブ」の開催協力	栗石町	7月18日	職員 3名 学生 延べ15名	三輪 式(農学部) 江本理恵(大学教育総合センター) 五味壮平(人文社会科学部)	お笑い芸人によるライブのほか、アカペラやストリートパフォーマンスで岩大生も出演。イベントの司会も岩大生が担当。
12	「第11回遊園地で科学を楽しむ日」へ被災児童生徒を招待	盛岡市	8月10日	教員 1名	八木一正(教育学部)	会場の岩山パークランドに沿岸の小中学生を招待
13	被災地域の中学生・大学生とロシア剣士との稽古及びロシア市民との国際交流活動	ロシア(クラスノヤルスク)	8月15日～22日	学生 13名 教員 3名	浅見 裕(教育学部)他	ロシア剣道連盟からの申し出釜石中学校から12名参加(うち教員1名) ロシア側から中学生など約60名参加
14	チャリティーバザーの実施協力	盛岡市	9月25日	教員 2名 学生	五味壮平(人文社会科学部) 吉田等明(情報処理センター)	

※平成23年10月以降継続している活動も一部含む(平成23年10月以降の活動の詳細は、「第6部 2.復興推進活動」参照)。

※活動場所について、都道府県名のない市町村は、すべて岩手県内の市町村。

※期間について、年表記のないものは、すべて平成23年。

※担当教職員名について、所属・役職はいずれも当時のもの。

(2) 被災地へのICT機器提供

被災地へのICT機器提供業務における技術職員の対応

村上 武 那須川徳博* 志田 寛* 庄司こずえ*
工学系技術室材料機能技術グループ
*工学系技術室電気情報技術グループ

1. はじめに

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、東日本の広範囲にわたって甚大な被害を受けた。とりわけ大津波により岩手、宮城、福島県の沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。岩手大学のある盛岡市は震度5強を観測し、停電、漏水、物品の落下などの被害を受けたが、全体として見れば大学の機能を著しく低下させるような深刻な被害ではなかった。震災の翌週にはインフラはほぼ復旧し、大学は次第に地域の復興へと舵を取り始めた。地域復興の一環として、震災現場へ向かいボランティアとして直接復旧にあたるものもいれば、中長期的な視野に立った研究や企画を立ち上げるものもいた。その中で、被災地に情報通信機器（以下ICT機器）を届けようという企画が起こり、ICT機器を募集する案内が学内外へ発信された。それから数ヶ月間、ICT機器の受付、管理、整備及び被災地へ提供する業務を技術職員が中心となって遂行し、10月下旬で活動を終了した。602台のPCと90台のプリンタをのべ113カ所被災地へ提供することができた。この機会を借り、我々の活動を報告する。

2. ICT機器提供業務の立ち上がり

岩手大学内の震災復旧処理も落ち着いた3月26日、被災地からICT機器の支援要請文が発せられたことが、本学工学部長よりメールで報告された。これを受け28日、岩手大学による被災地への復興支援として、地域防災研究センターがICT機器の提供を行うことになった。これに関して当技術室においても、対応できることは積極的に対応することになり、ICT機器に詳しい技術職員らを集めチームが編成された。翌日29日にはICT機器を募集する呼びかけが行われ、30日には早くも中古PC等が届き始めた。詳しい管理方法・整備手順がまだ定まっていない中でICT機器の搬入が開始され、大変混乱した状況となったが、急きょ広い作業場所も決まり、担当の技術職員らにより手探りで業務を進めていくことになった。

3. チームの構成

チームは副技術室長を統括とし、統括のサポートを行う統括補及び、以下の3つの班から構成される。

- (1) 情報管理班 受け付けたICT機器や物品の搬入、ICT機器の管理、PCの状態とスペックの確認、メンテナンス状況の管理、保管品の管理、被災地への譲渡希望品の管理、譲渡品搬出管理等を行う。
- (2) PC整備班 受け付けたPCについて、HDDの初期化またはリカバリ、OSや各種ソフトウェアのインストール、PCの清掃、個票の作成等を行う。
- (3) サプライズ班 プリンタ、マウス、ネットワーク機器等の周辺機器についてスペックの確認、動作確認、清掃、個票の作成等を行う。



PCの整備



配送準備

宮古市避難所

4. チームの業務内容

業務を行う作業部屋として、震災により当面の間使われなくなった比較的大きな3部屋を確保でき、管理・受け入れ用、PC整備用及び、整備完了品の保管用として利用した。業務の内容は以下の通りである。

- (1) 受け入れ 受け付けたICT機器の所有者、スペック、現状等をデータベースに記録する。このデータは在庫管理や各種集計を迅速に行えるなどに大いに役に立った。PCのスペックが条件を満たす場合、PC整備に回す。プリンタ、マウス、ネットワーク機器等の周辺機器はサプライ班に移管する。
- (2) PCの整備 PCのHDD上に前のユーザが使用した痕跡が確認された場合は、HDDフォーマット後にOS再インストールまたはリカバリを行い、PCを初期状態にする。その後、Microsoft Office、ウイルスセキュリティソフト等をインストールし、Windows UpdateによりOSを最新の状態にする。インストールしたソフトウェアを記した個表を添付した後、清掃し、配送まちとなる。PC1台あたり3時間~5時間くらいの整備時間を要した。
- (3) サプライ品の管理 プリンタ、スキャナ、マウス、ネットワーク機器、ケーブル類等の動作チェック、仕様の確認を行い、データベースに記録する。プリンタの場合は印刷状態を確認し、インクカートリッジの容量が不足している場合は、予備のカートリッジを付属させる。ドライバが無い場合はドライバCDを新たに作成する。不足した周辺機器はホームページで募集したり、震災復興予算で新たに購入したりするなどして対処した。
- (4) 配送 被災地からICT機器の要望があれば、要望を満たす機器を選定し、リスト作成、添付して配送を行う。宅配業者を使うことがほとんどであるが、必要であれば現地へ出張して設置やネットワークの設定等も行う。

5. 問題と対処

- (1) ソフトウェアライセンス問題 利便性を考慮し、チームでは提供されたPCに一律にMicrosoft社製のWindowsやOfficeをインストールする計画を立てた。この場合、問題になるのがライセンスであるが、岩手大学情報処理センターがMicrosoft社と交渉を行い、4月5日に岩手大学のアカデミック・サイトライセンスを被災者が90日間限定で無償で使用できるようにした。
- (2) 不足した情報機器 当初、マウス、プリンタ用USBケーブル、モニター、インク、メモリ等の機器が不足しがちであった。マウスに関しては、利便性から全てのPCにマウスを付属させることとしたため圧倒的に（数百個程度）足りなかったが、岩手大学の震災復興予算でマウスを購入することになった。その他の機器が不足したときは、不足機器の募集を急きょ呼びかけたことも何度あったが、呼びかけに応じ学内外問わず迅速

に提供に応じていただき、大変感謝している。

- (3) マンパワーの不足 3、4月は業務のほぼ100%をこの業務に充てることができ、また手伝ってくれる技術職員がたくさんいた。しかし5月に入ると授業が開始し、研究活動が本格化してきたことから、技術職員だけでは十分な対応が難しくなってきた。そこで学生ボランティアを募集したところ約20名が集まり、5月中旬から6月中旬までほぼ毎日15時から18時まで作業していただき、大いに仕事が捗った。また同時期に、同じ型式のPCが大量に送られてくるケースが多かったため、HDDコピーツールによるHDD丸ごとコピーを採用した。通常のインストール作業では1台あたり3~5時間かかっていたが、HDDコピーツールを使うと1台あたり20~30分程度で終わることができる。専用のHDDコピーツールを3台用意し、さらに提供されたデスクトップPC5台をHDDコピーツールに仕立て、計8台のHDDコピーツールにより劇的に作業効率が改善した。

6. 被災地への配送

整備の済んだICT機器が順調に増えていくなかで、当初被災地からの要望は意外なほど少なかった。岩手県の沿岸全体に向けてICT機器提供の情報を配信していたが、初期のころは岩手県沿岸の最大都市宮古市周辺からの要望が多かった。岩手大学としては津波被害のより大きな南部へもっと送りたいと考えていたが、現地の担当者が多忙であったり、通信環境の復旧の遅れにより連絡がとりにくく、本学の連絡担当者は相当苦勞していたようである。それでも徐々に配送数は増え、PCの台数は4月48台、5月137台、6月111台、7月82台、プリンタは51台と順調に配送が進んだ。4月18日、28日には技術職員数名が現地の漁協や避難所に出張して、PCやプリンタの設置やネットワークの設定等を行った。

岩手大学は岩手県沿岸の自治体及び教育関係や漁業関係の復興を優先しICT機器の提供を行ってきたが、7月上旬の段階で一通りいきわたったと判断して、新たに宮城県、福島県に提供の申し出を行い、8月に福島へPC75台、プリンタ1台を提供した。さらに残った約150台のPCと約40台のプリンタを、岩手県の復興局と協力して沿岸の商工会や漁協等へ提供し、10月27日をもって本活動を終了した。

7. おわりに

今回報告した業務は、普段であればまず経験することのない業務であり、慣れない作業の連続であった。しかし目的は被災地の復興だけにチームの士気は高かった。業務は多忙ではあったが、みんなで連携しながらやってこれたからこそ、最後まで成し遂げることができたと思う。最後に、我々の要請に応じてICT機器を提供していただいた日本全国の皆様に深く感謝を申し上げる。



提供先からのお礼状の一例(逆に元気を頂きました!)

(3) 岩手県久慈市からの要請による復興活動

①久慈市からの岩手大学復興対策本部への要望に対する対応教員

平成23年5月2日付けで久慈市長様から岩手大学復興対策本部へ要望があった事項に対し、下記教員が対応し、連携・調査を進めた。

No.	テ ー マ	対 応 教 員	
		所 属 等	氏 名
1	被災地域のコミュニティの再生 ～民生児童委員の活動を中心とした施策の提言～	岩手大学教授 教育学部社会科	麥 倉 哲
2	大津波の分析及び今後の津波防災について	岩手大学教授 工学部長	堺 茂 樹
3	地域コミュニティの在り方に関する調査	岩手大学教授 工学部長	堺 茂 樹
4	復興計画案に対する助言	岩手大学教授 工学部長	堺 茂 樹
5	災害廃棄物の早期処分について	岩手大学助教 工学部社会環境工学科	晴 山 涉
6	農業における革新的塩害対策の研究	岩手大学教授 農学部応用生物化学課程	河 合 成 直
7	被災後の農山漁村の活性化について	岩手大学准教授 農学部農学生命課程	木 下 幸 雄
8	震災後の磯根等の海底及び地質変動調査について	東北大学大学院農学研究科教授 水圏植物生態学分野	吾 妻 行 雄

※担当教職名について、所属・役職はいずれも当時のもの。

②平成23年度地域課題解決プログラム

岩手大学では、学生の積極的な地域社会への参画を促すために、地域社会の抱える様々な問題を募集し、学生の研究テーマとする「地域課題解決プログラム」を行っている。平成23年度は、県内各地から応募のあった44件の中から、15件（そのうち久慈市の地域課題解決プログラムは下記2件）を学生の卒業研究テーマ等として採択し、1年間研究を進めた。

No.	テ ー マ	対 応 教 員	
		所 属 等	氏 名
1	農業における革新的塩害対策の研究	岩手大学教授 農学部応用生物化学課程	河 合 成 直
2	既存観光資源を活用した若年層へのアプローチ ～有効なPR方法と新たな観光メニューの開発～	岩手大学准教授 農学部共生環境課程	三 宅 諭